

S.P.V つうしん

スペースパークボランティアの会



郡山市ふれあい科学館 スペースパークボランティアの会 会誌

第 66 号 2021 年（令和 3 年）12 月 発刊

福島県郡山市駅前 2-11-1 郡山ふれあい科学館内 TEL 024-936-0201

★ 天文グループの近状報告。秋の夜空は・・・

昨年度から続くコロナ禍の下で活動機会の少ない 1 年となりましたが、感染防止策をとりながら駅前観望会や星の宅配便、講師派遣を行ってきております。



駅前観望会は、天候不順で予定回数を下回りましたが、開催できた時には盛況で多くの方に観望していただきました。星の宅配便も、特に夏の第 5 波の影響で予定回数より少なくなりましたが、10 月以降のイベントでは西空に金星、土星、木星が並んで見えたほか、月がくっきり見えたこともあり、にぎやかな星空を満喫していただけたと思います。

私もボランティア歴は短いのですが、今年度も新しくボランティア登録された方々が積極的に参加されており、来年度は天文グループの活動機会が例年通りに戻ること、そして自主的な出張活動の復活を望んでおります。（天文 G・佐藤 敏明）

★ 新会員紹介

NEW

天文グループに 2 名の新会員が入りました。ひとことを頂戴しましたのでご紹介します。

・櫻田しのぶさん（天文 G）：11 月から活動に参加しています。子どもがすっかり自立し、そろそろ自分も子離れをと思いたち、ならば誰かのお役にたてるような活動がしたいと探していました。スペースパークは子どもの大のお気に入りの場所で、年に何度も遊びに来ていました。先日、裏側を見学させていただき、すぐに子どもに自慢しました。初めての駅前観望会は天候に恵まれ、大変きれいな星空を眺める事が出来ました。寒空の中何十分も並んで家族仲睦まじく望遠鏡を覗く姿、無邪気なお子さん達の笑顔。ほっこりしてこちらの方が幸せな気持ちになりました。詳しい星座の知識はありませんが、自分も楽しみながら活動に参加していきたいと思います。

・紺野あゆみさん（天文 G）：出身は宮城県で、福島県にお嫁にきました。子どもが三人おります。天文の知識はありませんが、子どもの頃に流れ星が沢山降る日があり、母と妹と何個も何個も数えた夜がありました。とても幻想的でした。今回、お友達の櫻田さんから声をかけられ参加です。星空を楽しみにしているお子様達、ご家族様、興味のある方々のサポートをさせていただきたいと思います。皆さんにご指導いただきながら頑張りたいと思います。

★突然ですが、案内グループからのお題。①八幡、②虎丸、③皿。それぞれ何の話題でしょう★

今月の科学工作：白黒がカラーに見える・・・なぜ！なぜ！！なぜ！？

科学グループではこのところ「ベンハムのこま」という科学工作を出しています。白黒の模様が描かれた円盤にビー玉をはめて回すと、**白黒が色付きに見える**のです。なぜ？なぜだ、、、！？静かに10秒ほど考えたら、ヒントに行きましょう。



ヒント① 目とは、何をする器官なのか？

△ものを見ている器官。◎色や光の情報を正しく網膜に伝え、そこで電気信号に変えて脳に送る器官。あくまでも**目は形や色を電気信号に変える装置**であり、**ものは目ではなく脳*が見ている**のです。（*正確には視覚野）

ヒント② どうやって電気信号に変えるのか？

ずばり、**網膜にある視細胞**が電気信号に変えています。この細胞、大きく分けると**タイプが2つ**。**明暗に強い桿体**かんたい、**色覚に強い錐体**すいたい。それが隣同士に絡まり合っています。

さあヒント出そろいました。ベンハムのこまは、白黒が間髪入れずに連続でやってくる。白、黒、白、黒、明、暗、明、暗、、、**桿体も錐体も疲れちゃいます**よね。この情報を整理する水平細胞もエラーをおこし、見え方を変えてしまうだろうというのが一つの考察です。

それなら、エラーを具体的に、どの細胞のこういった疲労がどんな色の変化かとなると、未知なる領域。**科学に終わりはなく、掘り下げれば掘り下げるほどわからないことだらけ**になります。そもそもなぜ、0/1の電気信号から空間把握できるのかだっあまり良くわかりません。今見ている世界は脳が勝手にそう「思い込んでいる」だけで、実はぜんぜん違うかもしれませんよ。

(科学G・熊本)



案内グループからの挑戦：郡山ものしりクイズ

郡山の歴史と文化を深掘りする案内グループ。知る人ぞ知る情報をクイズにしました。

- 問1) 安積國造神社は、坂上田村麻呂が八幡大神をお祭りし旗と弓矢を奉納したことから□様の愛称で親しまれています。神社会館4階には、安積良斎銅像もあります。
- 問2) 如宝寺建立にかかわり、そして清水台遺跡（現・芳山公園）を中心にあちこちに屋敷を構え、豪勢さを誇っていた□長者。今も郡山の地名として残っています。
- 問3) 現在の商工会館周辺に「水神祠」と呼ばれるほこらがありますが、昔は□沼と呼ばれる沼でした。問2の使用人が、そこで食器を洗っていたそうです。

→答えは一面の下！（案内G・原）



SPVの今後の予定

- ・2022年2月13日 **市民活動交流フェスタ** in 郡山市公会堂。ブースも出す予定です。
- ・2022年3月6日 10時～**ボランティアまつり**。案内・科学・天文総出で展望ロビーを盛り上げます。
- ・2022年3月13日 13時30分～14時30分 **総会**、15時～16時 **講演会**（いずれも会員向け）。講演会では元・郡山女子大学教授の広井勝先生より「人間生活ときのこ」をお話いただく予定です。

スペースパークボランティアの会（SPV: Space Park Volunteer）とは・・・

郡山駅前・ビッグアイにある科学館スペースパーク（郡山市ふれあい科学館）を拠点に活動する、市民たちによるボランティア会です。幅広い年代の**約80名**の会員が**案内・科学・天文**の3グループに分かれ、科学館内の展望ロビーや常設カウンター、駅前の星空観望会のほか、市内各地の公民館活動や学校行事、地域イベントなどに出席し、また生涯学習を目指しています。まちづくりハーモニー賞受賞団体、星のソムリエ多数在籍。

新会員常時募集中です。各種イベントの出展も承っております。

ふれあい科学館 024-936-0201、info@space-park.jp へお気軽にご連絡ください！